



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 雅明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 小塚 智広 TEL 03(3663)3111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	46,024	△3.7	1,773	△25.6	4,245	3.8	2,594	4.0
26年3月期第2四半期	47,808	△1.0	2,384	44.3	4,089	65.0	2,495	67.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,731百万円 (△12.5%) 26年3月期第2四半期 3,122百万円 (106.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	19.46	—
26年3月期第2四半期	18.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	93,890	67,556	67.2	473.38
26年3月期	99,115	65,724	61.9	460.29

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 63,119百万円 26年3月期 61,375百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,100	△2.9	4,280	△18.0	8,550	△7.2	5,380	2.2	40.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	141,667,400株	26年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	8,328,246株	26年3月期	8,327,165株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	133,339,837株	26年3月期2Q	133,347,688株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続く一方で、消費税率引き上げによる個人消費の低迷などが見られ、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループはこの4月よりスタートした第5次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase2 (三井製糖2022への道)」(2014年4月～2016年3月)の進捗に向け注力してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りとなりました。

## (砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期の前半はブラジルでの天候不安などから18セントを上回る水準で推移しましたが、ブラジル・タイにおける気象不安の後退や需要の鈍さから軟調に推移しました。その後好天候による生産地での順調な圧搾状況や商品相場全体の下落なども加わり、9月には一時13セント台まで急落しましたが、期末間近に急落の反動が見られ、15セント中盤で第2四半期末を迎えました。以上の相場動向の中、低価格での原料糖調達に努めましたが、前期との比較では円安による輸入価格の上昇を受け、原料費が増加いたしました。

販売面では、第1四半期での駆け込み需要の反動から家庭用製品の販売量が伸び悩んだことや、第2四半期での天候不順からユーザー向けの販売が振るわなかったことなどから、前年同期を下回ることとなりました。

生産面では、エネルギー価格が高水準で推移するなか原単位の改善に努めましたが、予防保全費の増加などから、前年との比較では製造固定費が増加いたしました。

一方、連結子会社では北海道糖業株式会社における原価率の改善や生和糖業株式会社における販売量の回復などの貢献もありましたが、砂糖事業全体としては、売上高40,768百万円、営業利益1,499百万円となりました。

## 期中の砂糖市況

国内市中相場(日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり)

期を通じて185円～186円で推移

海外粗糖相場(ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり)

始値17.77セント 高値18.28セント 安値 13.32セント 終値 15.48セント

## (食品素材事業)

食品素材事業につきましては、パラチノース分野において、スローカロリープロジェクトを展開し、糖質をゆっくり吸収できる特性を活かすべく医療分野やスポーツ領域への販売展開を実施し、順調に推移いたしました。一方、他の既存分野や連結子会社において駆け込み需要の反動が影響したことなどから売上高4,688百万円、営業利益44百万円となりました。

## (不動産事業)

東京都杉並区での新規開発物件が第2四半期より収益面に寄与いたしました。既存賃貸物件保全のための一過性費用の発生等により、売上高、営業利益とも前年同期を下回った結果、売上高566百万円、営業利益229百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は46,024百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は1,773百万円(前年同期比25.6%減)となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー2,459百万円を計上したことなどから、経常利益4,245百万円(前年同期比3.8%増)、四半期純利益2,594百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比5,224百万円減少し93,890百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

## ①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比7,568百万円減少し33,103百万円となりました。これは主として、原材料及び貯蔵品の増加1,201百万円等があった一方で、商品及び製品の減少6,159百万円、現金及び預金の減少2,205百万円等があったことによるものであります。

## ②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比2,344百万円増加し60,787百万円となりました。これは主として、建設仮勘定の増加1,224百万円、投資有価証券の増加781百万円、建物及び構築物の増加517百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少324百万円等があったことによるものであります。

## ③負債

負債は、前連結会計年度末比7,055百万円減少し26,334百万円となりました。これは主として、退職給付に係る負債の増加208百万円等があった一方で、短期借入金の減少5,900百万円、長期借入金の減少933百万円、未払法人税等の減少890百万円等があったことによるものであります。

## ④純資産

純資産は、前連結会計年度末比1,831百万円増加し67,556百万円となりました。これは主として、四半期純利益2,594百万円、剰余金の配当667百万円等があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、概ね計画並みに推移しており、平成26年5月14日に公表の通りとし変更はございません。

なお、平成26年10月31日開催の取締役会においてニュートリー株式会社を株式取得により子会社化することを決議いたしました。本日別途開示しております「ニュートリー株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」を併せてご覧いただきますようお願いいたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が298百万円及び繰延税金資産が76百万円それぞれ増加し、退職給付に係る資産が60百万円及び繰延税金負債が51百万円それぞれ減少するとともに、利益剰余金が172百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,042	9,837
受取手形及び売掛金	6,695	6,544
商品及び製品	14,102	7,943
仕掛品	1,808	1,510
原材料及び貯蔵品	3,975	5,176
繰延税金資産	697	628
その他	1,350	1,463
流動資産合計	40,672	33,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,211	31,359
減価償却累計額	△20,579	△20,209
建物及び構築物(純額)	10,632	11,149
機械装置及び運搬具	71,050	71,144
減価償却累計額	△58,296	△58,715
機械装置及び運搬具(純額)	12,754	12,429
工具、器具及び備品	2,251	2,212
減価償却累計額	△1,917	△1,888
工具、器具及び備品(純額)	333	323
土地	18,027	18,027
リース資産	808	873
減価償却累計額	△27	△72
リース資産(純額)	781	801
建設仮勘定	2,654	3,878
有形固定資産合計	45,183	46,611
無形固定資産	675	767
投資その他の資産		
投資有価証券	10,859	11,641
長期貸付金	45	39
退職給付に係る資産	138	153
繰延税金資産	784	747
その他	777	848
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	12,584	13,408
固定資産合計	58,442	60,787
資産合計	99,115	93,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,400	5,444
短期借入金	7,700	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,868	1,841
リース債務	83	89
未払費用	2,753	2,677
未払法人税等	2,264	1,373
役員賞与引当金	55	28
その他	2,467	3,606
流動負債合計	22,594	16,860
固定負債		
長期借入金	3,234	2,328
リース債務	739	733
繰延税金負債	1,243	1,264
役員退職慰労引当金	146	160
退職給付に係る負債	2,836	3,045
資産除去債務	375	389
その他	2,221	1,552
固定負債合計	10,796	9,473
負債合計	33,390	26,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,255	1,255
利益剰余金	55,532	57,287
自己株式	△2,919	△2,919
株主資本合計	60,951	62,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	397	478
繰延ヘッジ損益	4	△3
為替換算調整勘定	7	△108
退職給付に係る調整累計額	13	47
その他の包括利益累計額合計	423	414
少数株主持分	4,349	4,436
純資産合計	65,724	67,556
負債純資産合計	99,115	93,890

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	47,808	46,024
売上原価	37,642	36,339
売上総利益	10,165	9,684
販売費及び一般管理費		
配送費	2,159	2,168
役員賞与引当金繰入額	26	27
退職給付費用	81	73
役員退職慰労引当金繰入額	15	14
その他	5,498	5,626
販売費及び一般管理費合計	7,780	7,911
営業利益	2,384	1,773
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	75	82
受取ロイヤリティー	1,735	2,459
持分法による投資利益	130	130
雑収入	128	71
営業外収益合計	2,073	2,745
営業外費用		
支払利息	68	60
固定資産除却損	94	57
設備撤去費	111	72
雑損失	94	83
営業外費用合計	367	274
経常利益	4,089	4,245
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9
補助金収入	54	163
特別利益合計	54	173
特別損失		
固定資産圧縮損	41	147
固定資産除却損	—	59
特別損失合計	41	206
税金等調整前四半期純利益	4,103	4,211
法人税、住民税及び事業税	1,450	1,304
法人税等調整額	92	194
法人税等合計	1,543	1,498
少数株主損益調整前四半期純利益	2,560	2,712
少数株主利益	64	117
四半期純利益	2,495	2,594



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,560	2,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	74
繰延ヘッジ損益	10	△9
退職給付に係る調整額	-	53
持分法適用会社に対する持分相当額	516	△98
その他の包括利益合計	562	19
四半期包括利益	3,122	2,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,053	2,585
少数株主に係る四半期包括利益	69	146

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,342	4,890	575	47,808	—	47,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	—	27	53	△53	—
計	42,368	4,890	602	47,861	△53	47,808
セグメント利益	1,925	165	293	2,384	—	2,384

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,768	4,688	566	46,024	—	46,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	—	24	44	△44	—
計	40,788	4,688	591	46,068	△44	46,024
セグメント利益	1,499	44	229	1,773	—	1,773

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。